

令和4年度 川口文化服装専門学校 自己評価報告書

令和5年8月
学校法人文化学園

令和4年度 川口文化服装専門学校 自己評価報告書 目次

1 学校の現況.....	1
1.1 学校名.....	1
1.2 所在地.....	1
1.3 本学の沿革.....	1
1.4 学科の構成.....	1
2 専門課程、項目別の自己評価.....	2
2.1 学校の教育目標.....	2
2.2 本年度に定めた、重点的に取り組むことが必要な目標や計画.....	2
2.3 評価概要.....	3
2.4 評価項目の達成、及び取り組み状況.....	4
2.5 集計結果.....	9
3 学校評価の具体的な目標や、計画の総合的な評価結果.....	9
4 高等課程、項目別の自己評価.....	10
4.1 学校の教育目標.....	10
4.2 本年度に定めた、重点的に取り組むことが必要な目標や計画.....	10
4.3 評価概要.....	11
4.4 評価項目の達成及び取組状況.....	12
4.5 集計結果.....	19
5 学校評価の具体的な目標や、計画の総合的な評価結果.....	20

専門課程

1 学校の現況

1.1 学校名

学校法人文化学園 川口文化服装専門学校

1.2 所在地

〒332-0016 埼玉県川口市幸町 3 丁目 5-33

1.3 本学の沿革

昭和 23 年 5 月	学校設置認可を得る
昭和 29 年 11 月	学校法人文化学園となる 経営体系を公共的組織に改め、施設設備を拡充
昭和 51 年	専門学校として認可 教育内容の充実向上を図り、専門課程および高等課程を設置
昭和 63 年 4 月	高等課程にて技能連携を開始 連携先、埼玉県立大宮中央高等学校の単位制による通信制課程
昭和 63 年 10 月	高等課程修了時、大学入学資格付与の指定を受ける
平成元年	課程名称を「服飾・家政高等課程服装科」、「服飾・家政専門課程服装科」 に変更、専門課程服装科に外国人留学生の受入れを開始
平成 6 年 3 月	専門課程服装科修了者に対し、「専門士」称号の付与を認められる (文科省告示第 7 号)
平成 7 年 4 月	服飾・家政専門課程に「服飾専攻科」(修業年限 1 年)を設置 一般を対象とした「別科服装専科(社会人コース)」を設置

1.4 学科の構成

課程	学科	コース	修業年数	入学定員	総定員
高等	服装科	洋裁	3 年	5 名	75 名
	服装科	高校併修		20 名	
専門	服装科	洋裁	2 年	35 名	70 名
	服装専攻科	洋裁	1 年	10 名	10 名

専門課程

2 専門課程、項目別の自己評価

2.1 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること

2.2 本年度に定めた、重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標：

- ① カリキュラムの見直し
- ② 学生及び教職員の健康・安全を重視した学習環境の確保

計画：

- ① 成績評価の見直し
- ② シラバス、指導計画の見直し
- ③ 資格取得の強化
- ④ 就職活動に対する支援体制の強化
- ⑤ 企業訪問、美術展鑑賞等の校外実習の充実
- ⑥ 子育て世代に向けた社会人講座の新設と広報活動
- ⑦ 近隣・周辺地域の方とのつながりの強化
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症の学内感染を防止する取組の強化

【前年度からの変更点】

施設老朽化に伴う耐震化計画、および専門学校事業の運営体制の見直しに伴い、令和5年度は新規学生の募集を停止した

また、令和4年度は学修評価、生徒支援の体制強化を図るべく、目標および計画の見直しを実施した

専門課程

2.3 評価概要

学校教員による自己評価の調査は令和5年6月に実施した

対象者は、令和4年度に川口文化服装専門学校で専門課程にて学生の指導にあたる教員（5名）としたが、このうち1名は都合により回答を頂くことはできなかった

調査にあたって、評価項目は文部科学省の定める学校評価ガイドラインを参考とし、専門課程では11個の目次を定め、目次に沿った設問を数問設定した

このうち、令和4年度は新規学生の受け入れを停止しているため、当該の項目については調査を見合わせた

回答は適切な状態を4、不適切な状態を1とし、4段階で評価する方式とした

回答の集計に当たっては、各教員より記入頂いた回答（数字）を集計の上、四捨五入により平均値を求めた

通年であれば、評価値に応じた課題、および改善方法について検討を行うが、新規学生の募集停止により在籍学生数が0となるため、こちらの掲載は見合わせ、評価値のみを掲載した

専門課程

2.4 評価項目の達成、及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価	昨年比
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3	-
2	学校における職業教育の特色はあるか	3	+1pt
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2	-
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2	-
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2	-
-	平均値	2	-

(2) 学校運営

番号	評価項目	評価	昨年比
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2	-
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2	-
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、有効に機能しているか	2	-
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2	+1pt
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2	-
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	+1pt
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	+1pt
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	-
-	平均値	2	-

専門課程

(3) 教育活動

番号	評価項目	評価	昨年比
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	+1pt
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや、学習時間の確保は明確にされているか	2	-
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	+1pt
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや、教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2	-
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2	-
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2	-
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2	-
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2	+1pt
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3	+1pt
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	+1pt
11	人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	+1pt
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか	2	-
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や、教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2	-
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2	-
-	平均値	2	-

専門課程

(4) 学修成果

番号	評価項目	評価	昨年比
1	就職率の向上が図られているか	3	+1pt
2	資格取得率の向上が図られているか	3	-
3	退学率の低減が図られているか	2	-
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	-
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2	-
-	平均値	2	-

(5) 学生支援

番号	評価項目	評価	昨年比
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	+1pt
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	+2pt
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	+1pt
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	+1pt
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	+2pt
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	+1pt
7	保護者と適切に連携しているか	3	+1pt
8	卒業生への支援体制はあるか	3	+1pt
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	+1pt
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	+1pt
-	平均値	3	+1pt

専門課程

(6) 教育環境

番号	評価項目	評価	昨年比
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2	-
2	学内外の実習施設、インターンシップについて、十分な教育体制を整備しているか	2	-
3	防災に対する体制は整備されているか	3	+1pt
-	平均値	2	-

(7) 学生の受入れ募集

番号	評価項目	評価	昨年比
1	新規学生の受け入れ停止に伴い本項の質問は未実施		

(8) 財務

番号	評価項目	評価	昨年比
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	+1pt
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	+1pt
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3	+1pt
4	財務情報公開の体制整備はできているか	2	-
-	平均値	3	+1pt

(9) 法令等の遵守

番号	評価項目	評価	昨年比
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と、適正な運営がなされているか	3	+1pt
2	個人情報に関し、保護のための対策がとられているか	3	+1pt
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	+1pt
4	自己評価結果を公開しているか	4	+1pt
-	平均値	3	+1pt

専門課程

(10) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価	昨年比
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	3	+1pt
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	+1pt
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	+1pt
-	平均値	3	+1pt

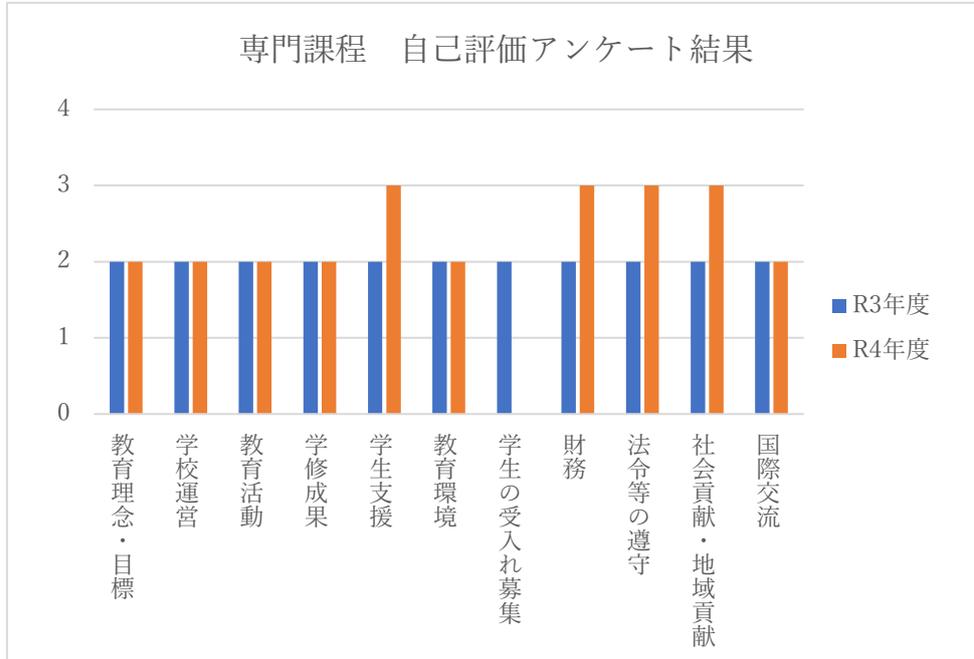
(11) 国際交流

		評価	昨年比
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	-
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3	-
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2	-
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2	-
-	平均値、集計値	2	-

専門課程

2.5 集計結果

令和4年度の自己評価調査について、目次ごとの集計結果を下図に示す
また、参考までに昨年度の平均値を記載した



3 学校評価の具体的な目標や、計画の総合的な評価結果

学生募集・広報活動が難航し入学生の増加につなげられなかった。

依然として留学生の割合が高く学習意欲が感じられない生徒もあり、生徒管理も含め対応しきれなかった点は否めない。今後は日本人学生を中心に学生数を増加させるよう努めたい。

また、教職員や学校として生徒情報の共有、カリキュラムや成績評価基準の見直しなど学校として今後の方向性を検討し必要とされる専門学校を目指し改革に取り組んでいく。

高等課程

4 高等課程、項目別の自己評価

4.1 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること

4.2 本年度に定めた、重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標：

- ① 学生及び教職員の健康・安全を重視した学習環境の確保

計画：

- ① 成績評価の見直し
- ② シラバス、指導計画の見直し
- ③ 資格取得の強化
- ④ 進路・就職活動に対する支援指導の強化
- ⑤ 生徒・保護者との三者面談の実施と生徒へのメンタルフォロー
- ⑥ 埼玉県立大宮中央高等学校との情報共有
- ⑦ 企業訪問、美術展鑑賞等の校外実習の充実
- ⑧ コロナウィルス感染症の学内感染を防止する取組の強化

【前年度からの変更点】

施設老朽化に伴う耐震化計画、および専門学校事業の運営体制の見直しに伴い、令和4年度は新規学生の募集を停止した

また、令和4年度は学修評価、生徒支援の体制強化を図るべく、目標および計画の見直しを実施した

高等課程

4.3 評価概要

学校教員による自己評価の調査は令和5年6月に実施した

対象者は、令和4年度に川口文化服装専門学校の高専課程にて学生の指導にあたる教員（5名）としたが、このうち1名は都合により回答を頂くことはできなかった

調査にあたって、評価項目は文部科学省の定める学校評価ガイドラインを参考とし、高専課程では12個の目次を定め、目次に沿った設問を数問設定した

このうち、令和4年度は新規学生の受け入れを停止しているため、当該の項目については調査を見合わせた

回答は適切な状態を4、不適切な状態を1とし、4段階で評価する方式とした

回答の集計に当たっては、各教員よりご記入頂いた回答（数字）を集計の上、四捨五入により平均値を求めた

高等課程

4.4 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価	昨年比
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3	-
2	学校における職業教育の特色はあるか	3	-
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2	-
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2	-
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2	-
-	平均値	2	-

① 課題

入学者の減少が続いている。専門学校への入学者数事態も減少しているが、その中でも高等専修学校として求められるニーズに応えることのできる人材の育成を目指し、根本となる基礎技術の習得を基本とし、本校の学生に適合した方法で人材育成に反映させていくことが必要となる。

② 今後の改善方策

学生募集の方法や学校としての教育の方向性を見直していくことが求められる。従来の方針を活かしつつ、時代のニーズに沿った教育方法を模索し、導入していく必要がある。

③ 特記事項

今年度も行事等の規模縮小が多く、学生たちの授業成果や学内の様子を外部に発信する機会が減少してしまった。

高等課程

(2) 学校運営

番号	評価項目	評価	昨年比
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2	-
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2	-
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2	-
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	2	+1pt
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2	-
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	+1pt
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2	-
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	-
-	平均値	2	-

① 課題

意思決定の簡素化・迅速化、運営に伴う規則の明確化

② 今後の改善方策

意思決定過程については前年度に引き続き手法の見直しを継続して行っていく必要がある。

運営に伴う規則についても明示的なかたちにするために検討していく必要がある。

③ 特記事項

内外に対する開示が不十分な情報に関しての開示方法の検討が必要である。

高等課程

(3) 教育活動

番号	評価項目	評価	昨年比
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	+1pt
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	+1pt
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	+1pt
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2	-
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2	-
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2	-
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2	-1pt
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2	+1pt
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2	-
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	+1pt
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2	-
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2	-
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2	-
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2	-
-	平均値	2	-

① 課題

職業教育、キャリア教育において生徒の将来に有益な指導をすることが課題である

② 今後の改善方策

学校の中でどこまで追求するのかを見定めることも必要、また指導を行う教員の確保も含め実施方法を検討していく

高等課程

(4) 生徒指導等

番号	評価項目	評価	昨年比
1	基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	+2pt
2	生徒の安全管理のための取組等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など）が行われているか	2	-
3	生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	3	-
4	進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	+2pt
-	平均値	3	+1pt

① 課題

遅刻や体調不良などによる長期欠席者への授業対応、成績評価方法をどの様にしていくのか検討が必要

② 今後の改善方策

保護者を交えての生活習慣指導、欠席が続く生徒については自宅学習にて授業課題を行なえるよう準備を行い、対応に努める

(5) 特別活動等

番号	評価項目	評価	昨年比
1	クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	2	+1pt
2	保護者会等と連携した活動を推進しているか	2	+1pt
-	平均値	2	+1pt

① 課題

クラブ活動は当校独自では実施していないが、技能連携校にて実施されている

② 今後の改善方策

技能連携校での部活動周知を行う

高等課程

(6) 学修成果

番号	評価項目	評価	昨年比
1	進学率や就職率の向上が図られているか	3	+1pt
2	資格取得率の向上が図られているか	3	-
3	退学率の低減が図られているか	2	-1pt
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	+1pt
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	2	-
-	平均値	3	+1pt

① 課題

卒業後のキャリア形成効果を把握しきれておらず、教育活動の改善に活用されていない

② 今後の改善方策

社会環境の変化に合わせ、家庭、地域と学校が連携し教育活動の見直しを行い柔軟に対応していく

高等課程

(7) 生徒支援

番号	評価項目	評価	昨年比
1	生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	-
2	生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	3	+1pt
3	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	+2pt
4	生徒の生活環境への支援は行われているか	3	+1pt
5	保護者と適切に連携しているか	4	+2pt
6	卒業生への支援体制はあるか	3	+1pt
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	+1pt
8	専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2	-
-	平均値	3	+1pt

① 課題

卒業生への支援体制が整っていない

② 今後の改善方策

卒業時に進路が決まっていない生徒に対し定期的に状況を把握し、就職や進学フォローが卒業後もできるような支援体制を検討していく

(8) 教育環境

番号	評価項目	評価	昨年比
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2	+1pt
2	学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	2	+1pt
3	防災に対する体制は整備されているか	3	+1pt
-	平均値	2	+1pt

① 課題

設備の老朽化

② 今後の改善方策

優先順位をつけ、予算の範囲内で随時、購入・刷新中である

高等課程

(9) 生徒の受入れ募集

番号	評価項目	評価	昨年比
1	新規生徒の受け入れ停止に伴い、本項の質問は未実施		

(10) 財務

番号	評価項目	評価	昨年比
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2	-
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	+1pt
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3	+1pt
4	財務情報公開の体制整備はできているか	2	-
-	平均値	3	+1pt

① 課題

財政情報の公開が急務である。

② 今後の改善方策

財務書類の準備および公開体制の整備の迅速化が必要である。

(11) 法令等の遵守

番号	評価項目	評価	昨年比
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	+1pt
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	+1pt
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	+1pt
4	自己評価結果を公開しているか	4	+2pt
-	平均値	3	+1pt

① 課題

自己評価結果に伴う教職員間での確認・反省が不足していた。

② 今後の改善方策

教職員間での自己評価結果の回覧や、ホームページ上で掲載内容をよく確認してもらうようにアナウンスを徹底する。

高等課程

(12) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価	昨年比
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	+2pt
2	生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	+1pt
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	+2pt
-	平均値	3	+2pt

① 課題

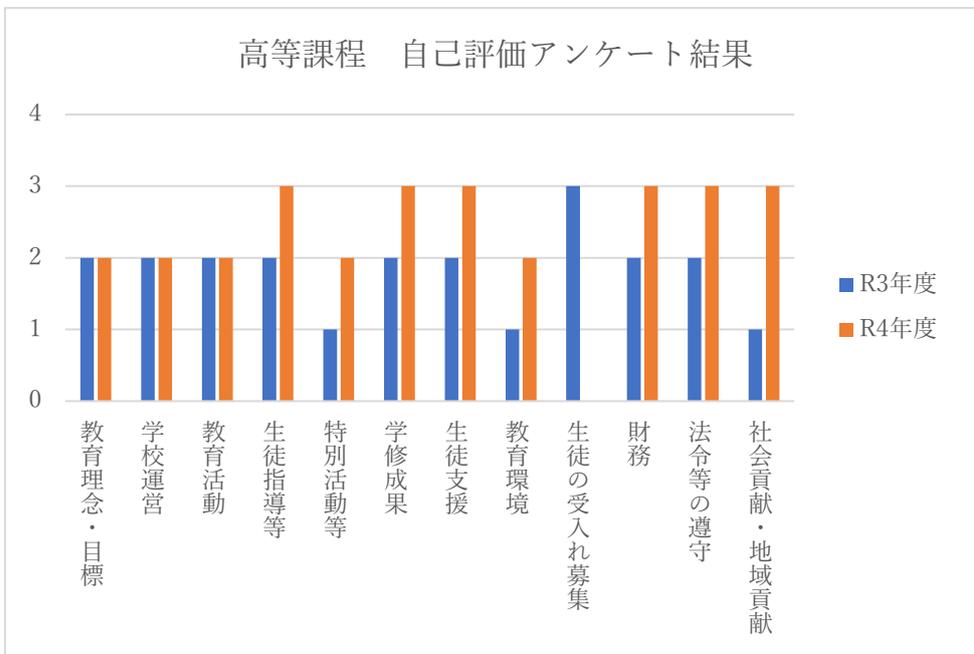
生徒へのボランティア活動への情報告知ができていない

② 今後の改善方策

教室内に掲示するなど情報の収集と開示方法を検討していく

4.5 集計結果

令和4年度の自己評価調査について、目次ごとの集計結果を下図に示す
また、参考までに昨年度の平均値を記載した



高等課程

5 学校評価の具体的な目標や、計画の総合的な評価結果

これまで高等課程の生徒は市内の中学から進学してくる割合が高かったが、他市の中学生が調べてオープンキャンパスに参加し、入学に至るといった動きがみられた。今後のさらなる学生増加に向けて努めたい。個々の学生の希望進路を実現するため、就職・進学を問わず将来的な支えとなるようなキャリア観を育成すべく、サポート体制を引き続き検討していく必要がある。

また、カリキュラムについても再度見直しが必要な時期に来ていると思われる、評価基準もふくめ学校として今後どのような教育を行い、どんな人材を育てたいのか改めて見直しが必要。